

# 屋久島の 魅力に迫る！ その17

## — 屋久島の人々： 木まま工房 —

「木まま工房」のご主人は元公務員で、福岡県出身の「山口さん」。今から20年前、この島に移り住んだ。その理由は極めて分かり易い。



### 「釣りが好きだったから！」

「今までいろいろな仕事をやってきましたよ。観光ガイドの時期もあり、縄文杉には200回以上登ったから山のことも詳しいけど。やっぱり、海かなあ。好きなのは。」

「今は2つの仕事があって一つはこの工房での仕事だけど天気のいい日は＝釣り日和だからまず、朝から「チヌづくり」の仕事。昔は磯にも出たけど、いまではもっぱら堤防で釣ってる。安全だし、いつでも、もう一つの仕事場「工房」に戻れるからね。」

「たくさん釣れた時はどうするんですか？」という質問には、ちょっとこっちへと案内されたのがなんと水槽小屋。デッカイ水槽が6つもあった。



さて、作業場中央には流木で作った大きな恐竜の模型。山口さんの作品は「遊び心いっぱい」プラス「釣りで培った？器用さ」を感じさせ、とっても楽しめます。



NATURE DESIGN

岡崎製材株式会社

代表取締役 八田欣也